



緑西LETTER

vol.1
創刊号

緑西直言



緑西会の新たな門出に

会長 大江 与喜子

(上ヶ原病院理事長・西宮市医師会会長・S53卒)

人はなぜ群がるのでしょうか？ 太古の昔は敵から身を守るため。または集団で獲物を捕るため、子孫を残すため。そして現在、町内会、患者会、同門会、同窓会、医師会、県人会・・・等々 群がる団体は数え切れません。群れから村ができ、町、市、県、そして国と共通の経験をもった、共通の知り合いがいる人々が集まり、同じ目的に向かって進む～時には生活、遊び、時には勉強、研究、時には要求、政策～群れの中では信頼があり、安心がある。

さて、兵庫医大に学び、西宮市で医療を営む。そんな人々が群がって「緑西会」ができました。どこにどんな同窓生がいるのかわからないままに「え～？あなたも兵庫医大だったの？」と集まってみれば話題は尽きず、年代を超えていつの間にか兵庫医大の思い出のみならず、どんどん発展拡大する兵庫医大への期待と、要望や夢が交錯します。

今、地域包括ケアシステムに向かって医療は突き進んでいます。ここでいう地域とは「住み慣れた地域」。西宮市という地域に学生時代に6年以上、その後あちこち行かれたでしようけれど、また西宮市にもどって現在にいたる、もっとも住み慣れた地域が西宮市。そしてここには同志がいる。医療で行き詰まった時、すぐ目の前に母校がある。先輩がいる。後輩がいる。兵庫医大の卒業生の中でもっとも兵庫医大に近い恵まれた支部会です。患者紹介や逆紹介など兵庫医大との連携なくしては地域医療は成り立ちません。共通する患者さんたちから兵庫医大を垣間見ることすら少なくありません。最新の医療機器、専門的な判断などは兵庫医大がもちろんリードですが、たとえば患者サービス、待ち時間、医師た

ちの説明、愛想、身軽さなど兵庫医大と競争できる場所も多々あります。だからこそ医療の住み分け、それぞれの役割分担で一人の患者さんを在宅開業医、中小病院、大学病院と時期に応じて選んでいただき兵庫医大をも含めた包括ケアシステムを形作ることも可能です。そのためにも緑西会のつながりを日常の臨床に大いに応用し、発展させていかなばと思います。

昭和54年に卒後1年目で上ヶ原病院の院長として西宮市医師会のA会員となった私です。平成6年法人化するまで、約15年を大学で過ごしていたためか、西宮市医師会との付き合いはほとんどなく、幻の会員だったとききます。兵庫医大輸血部から離れて上ヶ原病院院長としての自分を見直した時、地域の先生方との交流、連携がいかに大事かを知りました。医師会という一つの群れが見えてきました。地域の人々に地元の医師たちが健康、安心、医療を提供している。その一環としての自分の立ち位置を見据え、また母校兵庫医大の存在をバックに地域医療に邁進することができます。

医療は医師一人でするものではありません。兵庫医大で同じ経験をつんできた緑西会、同じ目的を共有する西宮市医師会、この群れは力強く、群れを守り、獲物をとり、子孫を残して繁栄を続けます。ここに兵庫医大があるからこそ、私たちは兵庫医大に意見具申し、互いに助け助けられて発展を願うものです。

この会報誌がこれからも緑西会の会員の絆を強め、兵庫医大との太いパイプになるよう願ってやみません。

会報発行に寄せて

～黎明期から緑西会を支えてこられた三人の先生方から～



谷口医院

谷口 賢蔵 (S54卒)

今津で小児科を開業している谷口です。今年で、ちょうど20年目になります。

現在64歳で還暦もとっくに過ぎ、何か自分に褒美をあげなくてはと思い、何がいいか考えました。

還暦の時には、EXILEのコンサートをプレゼントしてもらい夫婦で行きましたが2時間ずっと立ち放しで大変疲れました。

今度は、精神的なプレゼントが良いと考えました。それは、好きなことだけをする、嫌なことは断るという私自身へのプレゼントです。世間のしがらみでなかなか難しいのですが、時間をかけて実行したいと思います。

好きなことを、いろいろ考えました。家族旅行、大学の同級生との毎年の旅行、小児科学会への出席などたくさんあります。その中で兵庫医大関係では緑西会での皆さまとの懇談が楽しみです。同じ温もりを感じ、リラックス出来るのです。やはり兵庫医大気質というものがあるのかと思います。一度参加すれば、楽しさは保証付きです、ぜひ周りの卒業生を誘って参加してください。



撫順医院

深田 正代 (S58卒)

緑西会会報誌発行、おめでとうございます。

私が、谷口・安岡両先生から世話人を引き継いだときには、緑西会は、まだ、会員の横の繋がりを図り、大学の近況を知る親睦会という形でした。その後、大江会長の意向でゲストに講演を依頼し、学術面でも会員にプラスになるように努めてきました。しかし、世話人一人体制では、行き届かないことも多々あったと思います。

今回、世話人を吉岡優先生にバトンタッチし、若

い先生方の努力で会則が決まり、役員が選出され、会報誌も発行されることとなり、兵庫医大のおひざ元の同窓会として、恥じない組織づくりが出来ました。新執行部の方々のパワーには、頭が下がる思いです。

緑西会に参加することで、いろいろな先生方と親しく話ができるようになり、また、他科の先生方にもいろいろ相談しやすくなります。その繋がりは、日常の診察で大変役に立っています。

緑西会って何やっているのだろう、何か近寄りがないなと思っている若い先生方が、この会報誌を読んで、緑西会を身近に感じてもらえるよう、そして、できるだけ多くの会員の皆様が総会に出席していただけるよう、願っています。

新執行部の皆様の健闘を、お祈りいたします。



内科・肝臓内科・代謝内科

さいとう内科・肝臓クリニック



齋藤 正紀
(昭和63年卒・ラグビー部)
元 兵庫医大肝胆膵科 准教授

C型肝炎の最新治療

—B型肝炎、C型肝炎、肝炎はよろずご相談ください—

仁川町2丁目4-13 TEL: 54-7771

泌尿器小手術・在宅医療



医療法人社団 優会

よしおかクリニック
泌尿器科

吉岡 優
(昭和63年卒/硬式テニス部)
段上町1-2-34 tel 57-5535



なかおクリニック
泌尿器科

中尾 篤
(平成9年卒/軟式テニス部)
相生町6-37 tel 74-5515



段上町 1-2-34 TEL 57-5535

特別企画 ～お祝いのメッセージ～

緑西LETTERの創刊に際し兵庫医科大学学長・野口光一先生と
緑樹会会長・石藏礼一先生からお祝いのメッセージをいただきました。



お祝いの言葉

学長 野口 光一

緑西会報誌の発行、まことにおめでとうございます。

本年4月より第10代兵庫医科大学学長を拝命しております野口光一です。会報誌の発行が、緑西会の皆様の交流や情報交換等、会員同士の絆を強くし、さらに兵庫医大との一体感の熟成に役立つことを心より祈念致しております。

さて私、平成6年、今から22年半前に欠田教授の後任として、第2解剖の教授となり今に至ります。第1解剖の城教授の後任の関教授とは20年ほど一緒に解剖を教えてきましたが、1年前に定年退職されました。解剖学ですので、学生には骨学、筋肉学、組織学、神経学、解剖実習などを教えておりますが、研究テーマは疼痛、痛みの基礎研究であり、学会活動では整形外科、麻酔科、ペインクリニック、神経内科などの先生方とは多く交流させて頂いております。

今回の学長就任にあたって、特に重要な使命というか、大事な学長の仕事は、兵庫医科大学の同窓会の先生方との交流、連絡を密にして、在学生、卒業生が一体感を持った、帰属意識を持てる大学にすることだと考えています。皆様ご存じの通り、44年前に故森村茂樹先生により開学された兵庫医科大学は、既に3,978名の有為な医師を世に送り出しており、この間に、教育・

研究・診療のすべてにおいて、極めて高い評価をうけるようになりました。例えば教育におきましては、医師国家試験成績では安定した成績優良校として知られておりますし、研究面では、私立医科大学としてはトップクラスであり、国公立に匹敵する研究成果を挙げております。また、臨床面でも各科において、高い評価を受けている先生方が多数在籍しており、兵庫医大病院は、緑西会の先生方とより密接な関係を構築していきたい、と常に考えております。現役学生達にとって素晴らしいニュースは、現在建築工事中の新教育研究棟が来年11月に完成します。日本で最も新しく美しい学び舎が完成した暁には、同窓会の先生方には是非見ていただきたく、披露の会を開催する予定にしております。ご案内を差し上げますので、是非ご参加お願いします。

今回、緑西会の会則が制定され、さらにこの会報誌が発刊されましたことは本当に素晴らしいことで、市内で勤務する卒業生同士の交流、情報交換、そして大学との交流に是非役立てて頂きたいと考えております。新学長としまして、兵庫医科大学を真の意味で良い大学にするために全力を尽くす事以外に、緑樹会の皆様との交流推進のためフットワーク軽く何処にでも出ていき、兵庫医科大学の現状や未来について、お話させていただきます。緑樹会の皆様と大学、そして現役学生、現役若手医師との交流も図っていきたいと考えており、種々の方策により学生、同窓生、教職員の一体感を盛り上げたいと思います。どうぞよろしく願い申し上げます。

最後にもう一度、緑西会会報誌の発刊をお祝い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

医療法人財団 樹徳会

上ヶ原病院

☎52-2001

上ヶ原十番町1番85号

介護老人保健施設

上ヶ原訪問看護センター

陽喜な家 すまいる

理事長

大江与喜子 (昭和53卒・第一期生/硬式テニス部、スキー部、サッカー部)

緑西会会長・西宮市医師会会長





同窓会会長 石藏 礼一

緑西会会員の皆様こんにちは。

緑西会のレター発刊おめでとうございます。

支部会のレター発刊は緑尼会に続いてとなります。

このレターにより、緑西会皆様の絆がより強くなります様に。

緑樹会会長をさせていただいております石藏礼一です。昭和57年卒業以来、医師生活のほぼ全てを兵庫医科大学放射線科で過ごしております。

緑西会は各支部の中でも兵庫医大と物理的また精神的に最も近い存在です。会員の皆様とは大学との病診連携も密に持たれています。緑西会会長であり西宮医師会長である大江与喜子先生の存在も、緑西会をより母校に身近な支部会と感じます。私は2014年7月より同窓会会長という大役を拝命し、2期目になりました。緑樹会の皆様のご協力、ご指導のもと緑樹会運営に励んでいます。1期目は無我夢中でしたが、2期目に入りやっと全体が見えてきた気持ちがあります。しかし、私はどうしても大学からの見方をしてしまうところがあります。先輩が積み重ねてこられたすばらしい宝を引き継ぎながら、革新にもチャレンジしていくために、皆様のご協力が必要です。どうぞよろしくお願いいたします。

兵庫医大の西宮キャンパスでは、新教育研究棟が平成29年11月に完成いたします。その3階には兵庫医大アーカイブ室が作られます。緑樹会会員間の絆や兵庫医大への帰属意識を育む場になればと思っております。西宮キャンパスは皆様のすぐ近くにあります。出来ました折りには、是非ご来場ください。アーカイブ室には皆様の学生時代のノート、大学でのお写真、色々な大会でのカップや表彰状などを展示する計画です。ご協力いただける方は、緑樹会事務室または兵庫医大アーカイブ設置準備室（兵庫医大図書室 5号館2階0798-45-6173）迄までご連絡

ください。募集につきましては、緑樹会報やホームページでもお知らせいたします。また、アーカイブ室へのご提案がありましたら、そちらも是非ご連絡いただけたらと思います。

今年の緑西会総会は6月18日に行われ、私は病欠で参加できませんでしたが、野口光一学長が参加されました。多くの会員方が参加されていること、特に参加者が一期生から若い会員まで幅広いことは嬉しい次第です。

現在、各支部会での問題は若手会員の支部会への参加が少ないことです。20代から40代までは、日々進化する医学の中で臨床に研究に最も活躍する時です。また家族を持ち育てて行くとても忙しい時期です。その頃に、母校への帰属意識を持つ事や、緑樹会に参加しそれを育てることの大切さを認識するのは難しいのが現状だと思います。

しかし、緑西会には新しい芽が確実に育っています。すばらしいことだと思います。緑西会が各支部会へのモデルケースとなることを願ってやみません。各支部会が、臨床科をこえて、先輩/後輩、大学勤務医/市中個人病院勤務医/開業医と異なった環境の同窓生がコミュニケーションをとり、互いに助け合っていく場となりますように。

緑樹会では、支部会の皆様が円滑に活動できるよう、お役にたきたいいつも思っております。何かありましたら、いつでも緑樹会にご連絡ください。お待ちしております。

このレターが末永く続き、緑西会員の絆が育まれて行きます様に。みなさまのご健勝とご活躍をお祈りしております。

略 歴

- 1982年 兵庫医科大学卒業
同年兵庫医科大学放射線科入局
- 1994年 宝塚市立病院医長
- 1995年 ニューヨーク マウントサイナイ病院留学
- 2005年 兵庫医科大学放射線科講師
- 2008年 兵庫医科大学放射線科准教授
- 2012年 放射線医療センター 画像診断部 部長
- 2014年 緑樹会会長

日帰り白内障手術・小児眼科



ほしな眼科クリニック

保科 幸次 (平成3年卒/ラグビー部)



We love H.C.M!

門前町3-2 TEL:65-0095

URL <http://hoshina-eye-clinic.com/>



まつだ整形外科
クリニック

薬師町8-15 Tel: 68-5008

松田 清嗣
(平成7年卒・ラグビー部)

ボデイはボクサー、ハートはイクメン。
水曜日は明和病院で手術を頑張っております!





安岡クリニック
安岡真奈美 (S59卒)

兵庫医科大学6期生(1977年入学)の安岡真奈美と申します。

当期の入学にてようやく学生も6学年揃い、また初めての国試受験生を出す年となりました。

縁ありまして、苦楽園口に阪神大震災の3ヶ月後に開院致しました(平成7年4月)。

開院後(平成8年)旧・日本商事(現:アルフレッサK.K.)のSさんから、「西宮市内で開業されている兵庫医大ご出身の先生方で、懇親食事はいかがです

か?」と提案して頂き、まず始めに恐れ多くも1期生で上ヶ原病院院長の大江先生とのお食事の場を設定して頂きました。その場にて大まかなことは決めました。が、俗に言う当方が「言い出しっぺ」のため会場選択・日程・食事・会費・招待状と担当しました。一番難渋した事は名簿作りで、西宮で新規開業・勤務されても緑樹会に未届けの先生、医師会に未入会で緑樹会にも未届けの先生、すぐに移動されてしまった先生、

何とか初回は苦楽園口駅近くの割烹で10名ほどで行い、単なる懇親食事で和気藹々と終了しました。ただその後も勤務医の先生方には、なかなか出席して頂けず寂しく思っておりました。今回強力な助っ人たちが蜂起して下さり今まで何とか細々ながらも継続できて良かったと心より思っております。新幹事の先生方お世話になります。

代表世話人就任の挨拶



よしおかクリニック泌尿器科
吉岡 優 (S63卒)

この度大江会長の命にて緑西会代表世話人に就任させて頂きました。

毎年緑西会の参加者が少なく寂しい思いを抱いておりましたが、昨年の緑西会時に数人の共感者を見つけ、「もっと緑西会を盛り上げる会」を結成し、その延長線上で代表世話人の仕事をさせて頂いております。

我々がまず着手したのが、緑西会会則の作成でした。緑西会は市レベルでの集まりでは最多の110人の会員を有しますが、残念なことに会則が無い状態でした。会則を作る上でまず緑樹会、和歌山支部、尼崎支部等の現在の会則を参考に世話人会で原案を作成。4/2大江会長や歴代世話人をされた先生方にも参加して頂き最終校正をさせて頂きました。会員数も多く兵庫医大の御膝元であることなども考慮したオリジナルなものを作成致しました。今回同封しておりますので是非御一読お願い致します。

次にどうすれば参加者を増やせるか?と言う難題に取り組みました。

- 1:幅広い年齢層の会員にスタッフとなってもらい個人レベルで参加を促す。
- 2:部活関係を使って参加を促す。
- 3:総会日程を早めにアナウンスする。
- 4:参加したくなるような講演のテーマを選ぶ。を決め、今回実践致しました。

特に4については新学長野口教授に句な御講演をして頂きました。そして今回の総会には33名の先生方に参加して頂きました。とはいえまだまだ全会員の3割ですので更に多くの参加数を目指し努力を続けます。もし良案がありましたら是非御一報下さい。今回名簿を作成致しますので是非とも卒業年度周辺の先生をお誘い頂ければ幸いです。

そして会員の更なる相互親睦を目的に、この会報誌と親睦ゴルフ大会(第1回緑西杯2016.7.12有馬ロイヤルGC)を企画致しました。会報誌は広報担当の保科先生、濱岡先生に児玉先生率いる尼崎支部会報誌に負けない面白い内容のものをお願いしております。ゴルフ大会もいづれは他の支部との対抗戦も視野に入れ旺盛に行う予定です。

役員一同We love HCMを合言葉に、少しでも緑西会のお役に立ちたいと考え活動しております。何卒御協力の程宜しくお願い申し上げます。

消化器内科・外科・肛門外科・在宅訪問診療

おぐしくクリニック

小串伊知郎
(平成2年卒・剣道部)



二代目院長・西宮“道一筋40年”

上大市5丁目12-15 Tel:57-5531

何でも気軽に相談できるクリニック

消化器科・内科・外科・肛門科

平川クリニック

平川 一秀
(平成2年卒・アメリカンフットボール部)



緑西きっての愛妻家

愛車・速い車、趣味・ゴルフ



大屋町12-20 TEL: 66-8080

6月18日開催の総会報告

6月18日（土）、酒蔵通り煉瓦館にて第18回緑西会総会が開催されました。昨秋、大江会長から命を受けた吉岡代表世話人が「緑西会実行委員会」を発足、複数回のmeetingを重ね、4月2日の北口・孤山茶屋で20名参加の「緑西会総会を今まで以上に盛り上げる会」等を経て、正に入魂の総会本番でした。総会では吉岡が会則発行に向け参加者全員と内容の確認、続き、保科から経費を全て会員広告収入に因る自立型会報誌の発行説明、最後に7月10日の第一回緑西杯ゴルフの案内が高田から行われました。

そして、新学長に就任された野口光一先生から「兵庫医科大学の現状と学長としての夢」のタイトルで特別講演が行われました。緑樹会ネクタイがお似合いの先生から、御自身の足跡、阪神大震災以降の大学との深い関わり、そして、卒業生とも大いに一体感を持って大学を盛り上げていこうとの熱いメッセージを頂き、32名の参加者は食い入るように講演に聞き入り、

爽快な気分と改めて母校回帰を実感しました。各支部で、今後も続いて先生の講演が開催されることを切望します。終演後、大江会長から野口先生に御礼の、そして吉岡代表世話人から大江先生に西宮市医師会会長のお祝い+慰労の花束が贈呈されました。懇親会では、西宮市の条例どおり日本酒で乾杯、その後の2時間は大いに語り合いました。本当に素晴らしい総会となりました！！今後、毎年6月第3週土曜日に総会は開催されます。来年も宜しくお願いします！

(広報部)



広報部挨拶



保科 幸次

ほしな眼科クリニック (H3卒)

はじめまして。広報部の保科幸次、現在、50歳です。昨年秋に開催された兵庫医大の創設者・森村茂樹先生の生誕100周年の会で先生が55歳で大学設立を企図した事を知り、小生も、母校の為に自分の力量で出来る仕事はないかと考えていたところ、本会報発行の機運に出会いました。大江会長、吉岡代表世話人をはじめ全会員の方々の御指導を頂きながら、濱岡先生と協力して緑西LETTERを継続・育成してゆきたいと思っております。今後とも宜しくお願い申し上げます。



濱岡 守

はまおかクリニック (H16卒)

今回、改めて緑西会に参加、また広報のお手伝いをさせていただき運びとなりました。日常を過ごすだけではあまり意識することのない母校ですが、このような機会を与えていただき、改めて先輩、後輩に囲まれているという実感が沸いています。一旦卒業してしまうと同門の先生方と接する機会も制限されると思いますが、兵庫医大のお膝元である緑西会の広報活動を通じて、卒業生の先生方に少しでも母校を身近に感じていただければと思います。

兵庫医科大学同窓会緑樹会

西宮支部・緑西会会員数 **137名**

うち病院長・院長等管理医師 **69名**

(H28.10.1現在)

緑西LETTER

発行日／平成28年10月1日

発行人／大江与喜子

代表世話人／吉岡 優

印刷所／株式会社小西印刷所